

駒澤大学経済学部創立 60 周年記念

特別シンポジウムのご案内

駒澤大学経済学部は、今年で創立 60 周年を迎えることとなりました。これは、ひとえに関係各方面の皆様方のご指導・ご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

さて、学部といたしましては、60 周年記念事業の一環として、このたび下記の要領で、特別シンポジウムを企画いたしました。学生の皆様、一般の方々のご参加を心よりお待ちしております。

記

「特別シンポジウム」

テーマ： 規制緩和と労働・生活を考える
—研究者と労働運動家が現代と未来を語る—

特別報告：五十嵐 仁（法政大学大原社会問題研究所）
論 題：「労働再規制の構造とプロセス」

パネリスト：龍井葉二（連合・非正規労働センター）
井筒百子（全労連・非正規センター）
河添 誠（首都圏青年ユニオン）

日時：2009 年 7 月 18 日（土）午前 9 時 30 分～12 時（参加無料）

場所：駒澤大学深沢キャンパス アカデミーホール

〒154-0081 東京都世田谷区深沢 6-8-18

主催：駒澤大学経済学部 協力：労務理論学会

問合先：〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

駒澤大学経済学部 60 周年記念事業委員会

担当：堀 龍二

T E L : 03-3418-9422

メール：hori@komazawa-u.ac.jp

<特別シンポジウムの趣旨>

周知のように労働法制の規制緩和が、ワーキングプアや長時間過密労働に象徴されるように、雇用・賃金・労働時間など重要な労働条件を低下させ、現代日本における労働と生活を著しく劣化させてきました。こうした現実を踏まえ、規制緩和問題に詳しい研究者のみならず労働運動の最前線で活躍されている方々をお招きして、労働政策や規制緩和の最近の動向を把握するとともに、労働と生活の改善に向けてどのような取り組みが必要であるのかを議論するものです。ご関心のある方のご参加を心よりお待ちしております。